

第12回「環境やまがた大賞」 受賞者のご紹介

山形県では、地球環境又は地域環境の保全と創造に関する普及啓発、実践活動を行い、大きな成果が認められる個人、団体（グループ、NPO、学校等）を顕彰しています。

12回目となる今回は、「千門町蛍の会」、「山形県立米沢工業高等学校」の2団体を受賞者として決定しました。

表彰式は、平成23年6月3日に開催された「山形県地球温暖化防止県民運動推進大会」の中で行われ、吉村美栄子知事から各受賞者に賞状が手渡されました。



吉村知事と記念写真を撮影しました



米沢工業高等学校の生徒の方から
事例発表いただきました

第12回「環境やまがた大賞」受賞者

せんもんちょう

千門町 蛍の会

さすの
地域で連携した指首野川の環境整備と
子どもたちの環境学習支援



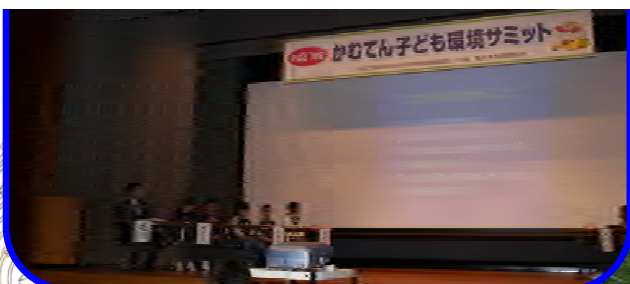
子どもたちの指首野川の源流めぐり。事前に千門町蛍の会の方々が下草刈りをしています。



千門町蛍の会は、地域を流れる指首野川を「昔のようなホタルが飛び交う清流にして地域の憩いの場として将来に残そう」という思いから、草刈りなど河川の環境整備に取り組んできました。

さらに、地域の自然環境の大切さを子どもたちに伝えていこうと、年間を通じて学校の環境学習を支援しています。4学校・4団体からなる「指首野川水辺の環境推進協議会」を組織し、地域で連携した環境保全活動を推進しています。

「指首野川水辺の環境推進協議会」主催の環境サミット



指首野川クリーン作戦

第12回「環境やまがた大賞」受賞者

山形県立米沢工業高等学校

高校生が手作りした電気自動車を自然エネルギーで走らせる

米沢工業高等学校は、生徒が手作りで製作した電気自動車を、校内で太陽光や風力により発電した自然エネルギーを活用して走らせています。

さらに電気自動車の充電機能を持った展示・格納車庫「エコ車庫」を地元の間伐材を活用して生徒が製作しました。



電気自動車製作の様子



「エコ車庫」の上棟式。
郷土の伝統文化も学びました



太陽光発電パネルを備えた「エコ車庫」と風力発電装置。公道を走行できるナンバーを取得しました。

これらの取組みには、多くの地元事業者の方々が協力、支援くださいました。地域を挙げて低炭素社会の形成を担う人材育成に先駆的に取り組んでいます。